

# 東京都島しょ等町村営水道事業検討会

## (第1回)会議資料

令和8年4月28日

# 目次

資料1

検討会設置について

資料2

町村営水道事業の現状

資料3

実態調査の概要

資料4

今後の進め方(スケジュール)

資料1

# 検討会設置について

## 東京都の水道事業

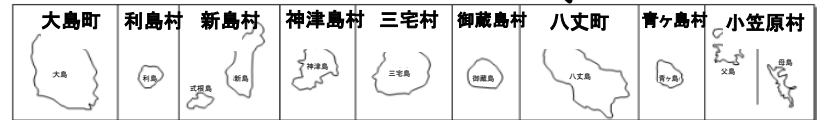
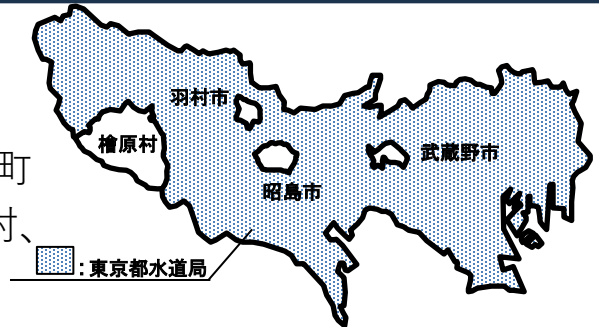
○給水人口の約98%は都営水道（東京都水道局。国土交通大臣認可）

○市町村営水道は都知事による認可

上水道事業（5事業）：武蔵野市、昭島市、羽村市、大島町、八丈町

簡易水道事業 ※給水人口5,000人以下（8事業）：檜原村、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、青ヶ島村、小笠原村

○保健医療局は、市町村営水道の認可事務及び簡易水道事業補助事務を所管し島しょ町村等の水道事業を支援



## 水道事業に係る検討委員会

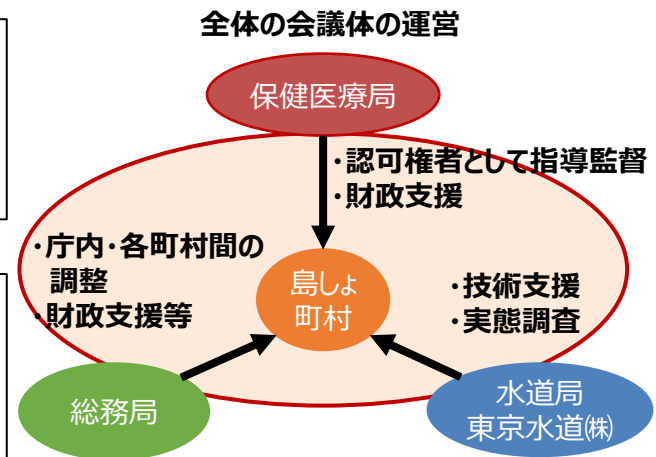
島しょ等の町村が実施する水道事業の持続性確保に向け、新たに協議会を立ち上げ

### 現状と課題

- 島しょ等は、各町村単独で水道事業を経営しており、小規模な給水区域が分散、水源や水道施設が点在
- 台風第22・23号災害を通じて、老朽化対策の遅れや、災害時のバックアップ機能の不足、島しょ水道事業の運営体制の脆弱さ露呈

### 取組内容

- ✓ 都庁各局（保健医療局・総務局・水道局）で協議会を設置
- ✓ 島しょ水道が抱える技術面の課題（施設・供給体制・人材など）を把握するため、水道局が技術支援・実態調査を実施
- ✓ 調査で緊急的な措置が必要と判明した箇所は、応急対応を実施
- ✓ まずは全島に年1回訪問調査を行い、2年間で施設現況や維持管理の課題を抽出、中長期的な整備の戦略や運営方法の改善策を提案



檜原村についても、上記と同様に実態調査等の取組を推進

## 資料2

# 町村営水道事業の現状

# 町村営水道事業の現状

## 1 全体概況

### 1-1 経営状況

- ・給水収益が乏しく、一般会計からの繰入金や地方債等に依存する経営構造

### 1-2 施設状況

- ・管路の老朽化率が高く（漏水量が多い）、耐震化率は低い状況

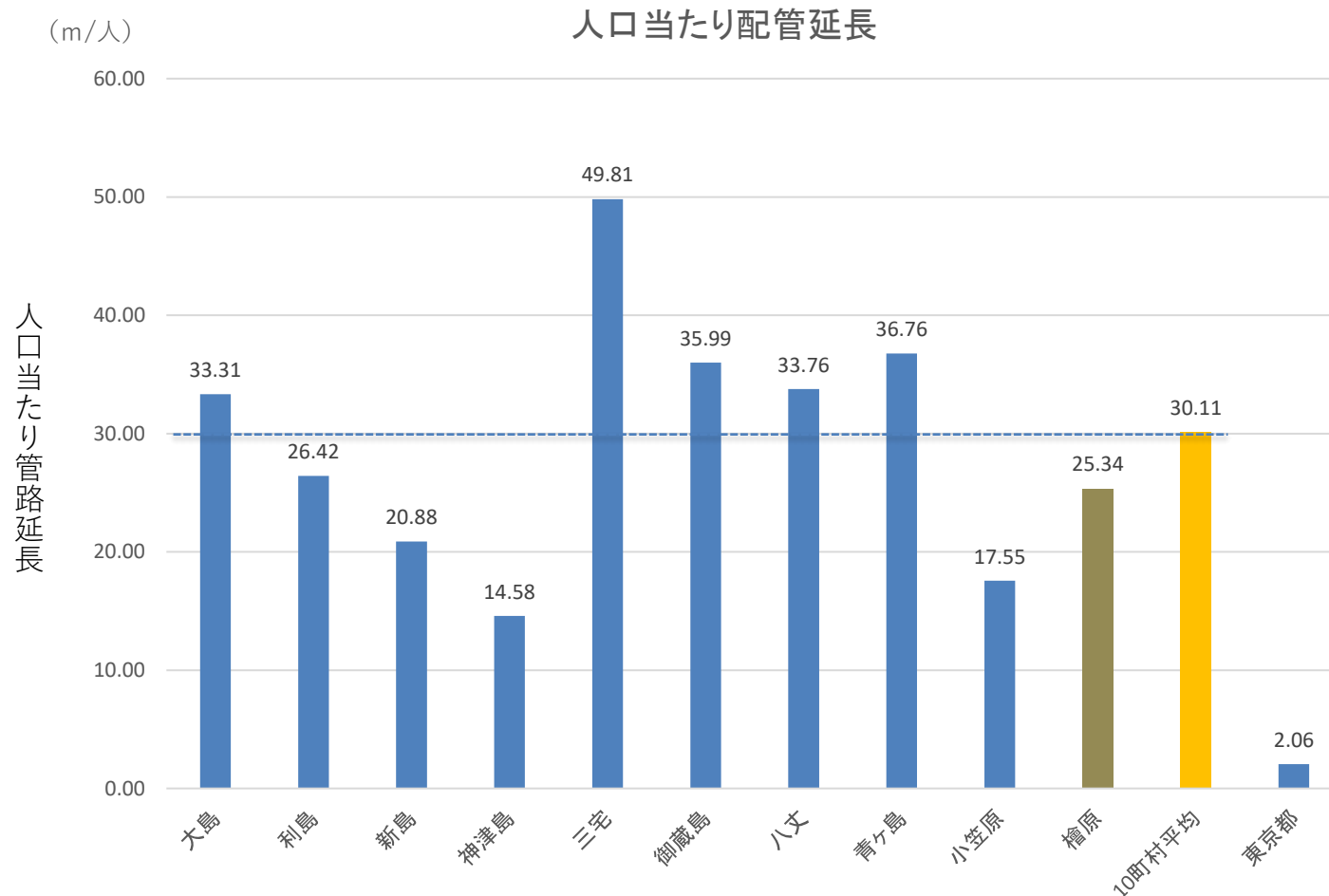
### <町村水道の基礎データ>

水道事業		経営関係					施設関係	
		水道料金	料金回収率	他会計繰入金	有収率 (漏水等)	流動比率	管路老朽化率	管路の耐震 継手率※
		10㎡当り/月(円)	%	千円	%	%	%	%
都営水道	上水道	1,067	98.76	191,267	95.94	146.2	22.9	48.1
大島町	上水道	1,974	90.91	20,543	70.19	145.7	31.5	4.9
利島村	簡易水道	2,100	12.27	104,169	66.17	89.3	84.1	11.6
新島村	簡易水道	880	64.66	13,358	99.36	63.0	40.0	25.3
神津島村	簡易水道	1,100	81.05	19,173	63.32	100.3	19.1	3.6
三宅村	簡易水道	1,925	34.07	143,477	73.41	88.3	67.5	9.4
御蔵島村	簡易水道	720	50.66	7,503	85.92	-	-	25.8
八丈町	上水道	2,156	110.78	43,251	67.50	85.5	35.6	22.5
青ヶ島村	簡易水道	2,530	22.72	48,447	91.59	28.1	-	0
小笠原村	簡易水道	2,090	40.70	202,370	91.63	156.8	68.3	28.3
檜原村	簡易水道	1,067	73.97	4,152	81.20	140.3	45.57	30.9

※R4.3.31時点

## 2 人口当たり管路延長（施設整備及び維持管理の困難性）

- ・ 町村営水道の人口密度は都営水道に比べて小さいことから、**人口当たりの管路延長が大きい**。  
（14.6倍 = 10町村平均 30.11 / 東京都 2.06）
- ・ 町村営水道の中でも、人口当たり管路延長の差が大きい。（3.4倍 = 三宅 49.8 / 神津島 14.58）



## 資料3

# 実態調査の概要

# 実態調査の概要

## 今年度の実態調査（概要）

### 実態調査イメージ

- ▶ 以下の4ステップで、取水・導水・浄水・送水・配水の各施設ごとに実施（課題抽出にコンサルタント委託も活用）



### 〈調査内容案〉

#### ① 現 状

- ▶ 調査対象事業者の地域特性や基礎情報、施設情報を整理
  - (1) 水道事業の概要：地域特性、給水区域、給水人口等
  - (2) 取水、導水、浄水、送配水施設の概要：規模や処理方式等
  - (3) 使用水量・需要動向：近年の配水量、需要変動の傾向等

#### ② 評 価

- ▶ 実地調査も踏まえて明らかになった施設ごとの状況を整理
  - (1) 各水道施設の現況と評価：機能低下の状況、耐震性等
  - (2) 維持管理状況：施設の点検手法や頻度及び薬品等の購入状況等

#### ③ 課題抽出

- ▶ 調査結果から見える中長期課題を抽出
  - (1) 施設老朽化の深刻度：耐震化不足、故障リスクの高まり等
  - (2) BCP・災害対応力の強化：断水リスク、代替路線の不足等
  - (3) 島内施工対応力：島内施工業者の規模、緊急時の対応力等
  - (4) 水源状況：水源の取水量・水質の変動等

#### ④ 提 案

- ▶ 課題に対応する中長期的な整備戦略と運営改善策

令和9年度実施

- ▶ 5月中旬の保健医療局のヒアリングに同席
- ▶ 現地での施設調査・意見交換は、8月～12月の期間で実施予定  
(東京都水道局職員と東京水道(株)社員による合計6名程度の体制)  
保健医療局は同行あるいはWebによる参加予定

# 実態調査の概要

## 今年度の実態調査（スケジュール）

令和8年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>3局検討会</b>	第1回 ★						第2回 ★				第3回 ★	
<b>保健医療局 島しょ(町村) ヒアリング</b>	LoGoフォーム	対面	※ 水道局同席		実地調査同行等							
<b>水道局 島しょ事前調査 (ヒアリング用)</b>	↑ 内容調整											
<b>施設調査</b>	既存資料 収集・整理											
			図面等による机上調査			実地調査						
	プレ訪問(大島・利島) 4月21日～23日											
						水道施設の課題整理						
<b>調査委託 (コンサル活用)</b>						中間報告						成果報告

## 資料4

# 今後の進め方 (スケジュール)

## ■ 全体スケジュール(案)

